

「短艇競技会」において家族と共に入隊者を激励



スタート直前の選手たち
(横須賀教育隊「短艇競技会」)



選手たちを応援する入隊者家族
(横須賀教育隊「短艇競技会」)



市ヶ尾募集案内所広報官と
選手に選ばれた曹候補生
(横須賀教育隊)

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 近藤一空尉)は、7月21日(金)、海上自衛隊横須賀教育隊で開催された「短艇競技会」において家族と共に入隊者を激励した。今年4月に一般曹候補生として入隊した彼らは、真っ黒に日焼けした姿で現れ、すっかり自衛官らしくなっていた。選手からは「応援しに来てくれて嬉しいです。優勝を目指します」と力強い言葉があった。選手以外の者からは「仲間を一杯応援します。きつと勝ってくると信じています」とお互いに信頼し合っている様子であった。競技会は熱戦続きで、降り注ぐ太陽と強風に負けないよう短艇を懸命に漕ぐ選手たちの姿が印象的だった。

入隊者の家族からは「息子の成長がものすごく感じられました」「自衛隊に入れた良かったです」「頼もしくなって、自慢の息子になりました」との声が聞かれた。

市ヶ尾募集案内所は「教育を通じ、自衛官として成長している姿を、家族たちと共に感じ、互いに親睦を図る良い機会となった。今後も、入隊者家族と連携を図るとともに、入隊者たちの勇姿を受験者とその家族に伝え、今後の募集活動に活かしていきたい」としている。

UH-1 体験搭乗を実施



離陸するUH-1

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長(当時) 1等海佐 松田 辰雄)は、7月22日(土)、武山駐屯地において、東部方面ヘリコプター隊の支援を得て、募集対象者及び援護企業主等に対するUH-1の体験搭乗を実施した。

当初、エプロンにて安全教育が行われ、搭乗員によるパネルを使った説明に参加者たちは熱心に耳を傾けていた。その後、UH-1の機体前で記念撮影を実施し、体験搭乗を行った。当日は、絶好のフライト日和で、上空からは雄大な富士山の景色を堪能することができた。

フライトを終えた参加者からは、「湘南の賑わいを上空から見ることができました」「上空ではパイロットに窓外の景色を案内して頂き、とても楽しかった」などの声を聞くことができた。

神奈川地本は「今後も各種イベントを通じて、自衛隊に対する関心の喚起と理解の増進に努めていく」としている。

1日限りのテーマパーク「えびな市民まつり」で自衛隊をPR



道路障害作業車の前で
記念撮影する親子



記念撮影で賑わう自衛隊ブース

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 岡山一海尉)は、7月23日(日)、「えびな市民まつり」において、募集広報を実施した。

まつりが実施された海老名運動公園は、1日限りのテーマパークに変身し、自衛隊は消防・米軍などと共に会場を盛り上げた。

自衛隊ブースでは、災害派遣や装備品写真パネル展示、子供用迷彩服試着コーナーのほか、第4施設群の支援を受け、道路障害作業車の展示を行なった。

子供用迷彩服試着コーナーは、迷彩服を着た子供と一緒に道路障害作業車の前で記念写真を撮ろうと、多くの家族連れで賑わった。

また、募集相談コーナーでは「自衛官に興味があります」という女子高生や「パイロットになりたい」という高校生、「陸上自衛官になりたい」という社会人など、多くの来場者が訪れ、広報官はていねいに質問に答えていた。

厚木募集案内所は「今後もイベント等での広報を積極的に実施し、自衛隊への理解と関心を深めてもらえるよう努めていく」としている。